第8回北海道食育推進優良活動表彰
受賞者活動紹介

（株）まつもと薬局栄養部（帯広市）

「食べるって大切なんだ」をテーマに幼稚園でのゲームや地元食材を活用した食育活動

活動開始：平成20年（2008年）

園児対象の食育

幼稚園での食育活動は、食材を赤（たんぱく質、黄色（主食）、緑（ビタミン、ミネラル）と大きく３つに分類し、食品群を信号機で表したものを基本として、年間を通してグループ分けや大まかな働きを理解してもらうため、カードゲームや本物の食材に触れてもらうなどの活動を実施。
収穫体験、親子クッキング、シェフや企業と連携したクッキングなど

保護者向けの食育

園児だけでなく、日々食事を担う保護者向けの食育を重視。
保護者勉強会（テーマは、こどもの栄養、アレルギー、好き嫌い）やおたよりなどの媒体による食育により、園での食育活動の参加率が上がるなどの効果があった。

職員対象の食育など

イベントだけでは、「食べるって大切なんだ」が浸透しない。先生の協力が重要なので、職員向けの勉強会なども実施。食の知識が高くなり、意識も向上した。コロナ禍で食育活動ができないときも職員の方が行ってくれた。LINEスタンプやYouTubeへのレシピ動画配信などSNSの活用も！

受賞コメント

実際に、自分の子育て時代に食に対する保護者の考えに漠然と不安を感じたことがきっかけです。
そこから12年の活動がこの度このような賞を頂き、とてもうれしく思います。
食育はその場では答えを出すことはできませんが、きっと子供たちが大人になった時に正しい食の選択ができると思います。
（栄養部部長一色恵様）